

地域活動のやりがい、魅力に迫る!!

将来の担い手に「なぐバトン」

「やっぱり子どもと何かをするって楽しいよね」

地元の運動会を支えるスポーツ推進委員

幸区地域包括ケアシステム推進パンフレット

令和6年3月発行

「自分にできることをやる、
ただそれだけです」

自分たちのまちを守るため、消防団は日々訓練を行っています。
消火活動、救助活動、啓発活動。
いざという時に「誰かを助けられる」ことが一番の魅力です。

地域活動のやりがい、魅力に迫る!!

「世間話で盛り上がったちゃうときだってあるわよ、
でも、それが楽しかったりするのよね」

毎月2回、みんなを団地の周りを掃除してるの。
朝早いなーって思うときもあるわよ。
でも、道がきれいだと
「明るい気持ちになる」じゃない?

「子どもの成長ってあつとこういう間で、
こうやってできるのもあと数年なんですよね」

交代で登校の見守りをしています。
暑い日も、寒い日も、雨の日もね。
「**子どもの安全を守る**」って言ったら
大げさかもしれませんが、
誰かがこうやってくれると思うと
子どもも親も安心しますよね。

地域活動のやりがい、魅力に迫る!!

「手伝おうと思ったきっかけですか？」

「仲のいいママ友同士の間ながらです」

地域のイベントで駄菓子屋さんをやりました。
こんなにたくさんの方が参加してくれれば
やる気もたまりますよ。
準備は大変だけど、いざ当日を迎えて
「参加してくれた方の笑顔」を見ると、
こちらも自然と笑顔になります。

地域包括 ケアシステムの 推進に向けて

川崎市の地ケアは 「すべての地域住民」が対象

川崎市では、高齢者だけでなく、障がいのある方、子ども、子育て中の親など今はケアを必要としていない方を含めたすべての住民を対象に、地域包括ケアシステムの構築を進めています。

地域包括ケアシステムの構築に向けては、自分自身のケア（自助）、みんなの支え合い（互助）、介護保険や医療保険などのサービス（共助）、行政による支援（公助）の組み合わせによる取り組みが必要です。

つまり、住民をはじめ、事業者や町内会・自治会、ボランティア団体、行政などが協力・連携していくことが重要といえます。



そもそも 地ケアって??



地域包括ケアシステムは、平成28年から進めている取り組みで、少子高齢化による人口減少や超高齢社会の到来が見込まれる中、誰もが住み慣れた地域や自らが望む場で安心して暮らし続けることができる地域を目指す取り組みです。

「システム」という名称ですが、決して難しいものではなく、自分でできることを増やし、地域で支え合いの関係を作ること、例えば、地域における見守り活動や、日頃からの挨拶や交流などを通じた顔見知りの関係づくりも地域包括ケアシステムの取り組みとなります。



マンガで知る!?



川崎市が行っている地域包括ケアシステムの取組を紹介しているポータルサイトで、より身近で分かりやすいストーリーをマンガにして定期的に掲載しています。

広報担当のキャラクター「あいちゃん」が、いろいろな出会いやイベントを通じて、地域包括ケアシステムの大切さを知り、住み慣れた地域で暮らし続けるためのポイントを教えてください。

マンガを読むことで、健康づくりや生きがいづくり、地域のつながりを大切にしていくことが地域包括ケアシステムを進める上での一歩になることがわかります。

難しいことや大変なことではなく、日常生活の中でできることから意識しましょう。



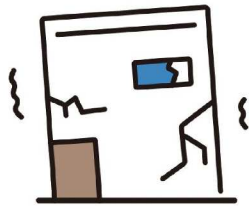
地域の役割は大きい!!

町内会・自治会を中心とする住民組織の役割は大きく、行政だけでは地域包括ケアシステムを進めることができません。

町内会・自治会は皆様の生活に最も身近な存在です。自分たちの住む地域をより良くしていくためには、そこに住む人が地域のことを考え、お互いに協力していくことが大切です。

特に災害時などの非常時、「もしも」というときには、隣近所、町内会・自治会での助け合いが多くの命を守り、困っている人の手助けとなります。

町内会・自治会での活動や日頃のご近所付き合いは、生活に安全と安心を与えてくれます。



地域活動の魅力はやりがい

地域のために地元の中학생と一緒に運動会を行ったり、火災や地震など災害が起こったときに誰かを助けたり、子どもが安全に登校できる環境を整えたり、自分の地域のため、誰かのために何かをする、その方たちから、伝わる地域活動への魅力、それは地域包括ケアシステムを推進する上で、なくてはならないものです。

今回は、そういった活動の一部を写真で紹介させていただきましたが、幸区では他にも様々な活動が行われています。

そういった活動の中心となっているのは、町内会・自治会です。

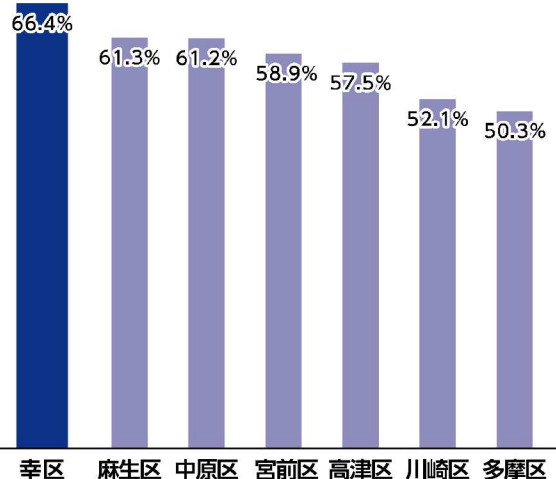


幸区は町内会・自治会加入率 No1!!

市内他区と比べ幸区の加入率は66.4%で1位です。およそ3人に2人が町内会・自治会に加入しています。

幸区には72の町内会・自治会があり（令和6年3月末現在）、地域のために防犯パトロール、ごみ集積所の維持管理、情報伝達（回覧板、掲示板）、お祭りの開催、地域の見守りや声かけなど様々な活動を行っています。

まずは、自分の住んでいる住所から町内会・自治会を検索してみましょう。



資料:令和4年度川崎市統計書「住民組織加入状況」(令和4年4月1日現在)

Instagramでご近所活動を知る

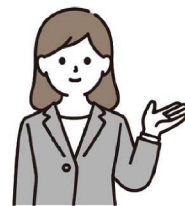
幸区のご近所活動を身近に感じてもらえるように情報発信しています。

お祭り、ランニング大会、紙ヒコーキ大会などイベントの様子を随時お届けします。ぜひフォローしてみてください。



加入はここから ▼

町内会・自治会への加入はこちらから。



～もし幸区民全員がこの本を読んだら～

しあわせプラン

第7期幸区地域福祉計画(令和6年度から令和8年度)

「幸区に住んで良かった」「幸区に住み続けたい」。一人でも多くの住民がそう感じられるように、幸区のまちをより暮らしやすいまちにしていくための方策としてまとめました。

基本理念

夢がひろがり、想いがつながり、心がとどくまちさいわい

基本目標 1 [自助]

一人ひとりに

【ひろがる】

地域包括ケアへの理解と参加の**広がり**による区民主役の地域づくり

基本目標 2 [互助]

地域で

【つながる】

人と地域の**つながり**が活発で、見守り、支え合うことのできる地域づくり

基本目標 3 [共助・公助]

必要な時に

【とどく】

総合的な体制で必要な相談・支援が**届く**仕組みづくり

基本目標 4 [すすめる]

地域福祉を**進める**基盤体制の確立とネットワークづくり



幸区のホームページで公開しています。ぜひ、アクセスしてみてください。



幸区社会福祉協議会が進める「地域福祉活動計画」



幸区の地域福祉を推進するための実践的な計画です。社会福祉協議会が呼びかけて、住民・地域において社会福祉に関する活動を行う方、社会福祉を目的とする事業を経営する方が、共に取り組んでいくための参画と協働のあり方を示しています。